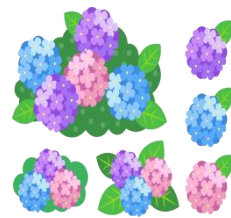


南三陸 復興まちづくり通信

第37号（平成29年7月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

2556人が来場、7口の迫力を楽しむ ～楽天イーグルス平成の森球場で2軍公式戦～

南三陸町歌津の平成の森しおかぜ球場の改修工事が完了し、名前も「楽天イーグルス平成の森球場」に変わりました。甲子園球場と同じ土を使うなどしてリニューアルした球場のオープンを記念して6月18日、イースタン・リーグ公式戦東北楽天ー日本ハム戦が行われました。試合は1ー5で楽天が敗れましたが、楽天の2軍戦としては過去最高の2,556人が来場し、プロ野球の生の迫力を楽しみました。



（プロの迫力を楽しむ観客 写真提供：南三陸町）



（和やかな雰囲気で行われた交流会の様子）

宝塚市ボランティアが伊里前復興住宅を訪問

兵庫県宝塚市のボランティア団体が5月26日、伊里前復興公営住宅を訪れ、入居者と交流会を催しました。訪れたのは震災直後から支援を続けている宝塚広域ボランティア連絡委員会と歌津応援団@たからづかの2団体7人。みんなで「北国の春」に振付をしたラジオ体操をした後に、お茶やお菓子、漬物を味わいながら、和やかに近況を語り合いました。お互いに見知った顔もあり、質問に答えて、公営住宅での暮らしぶりを紹介する場面も見られました。

高台移転団地集会所で「お手玉交流会」

6月4日に自治会の設立総会が行われた歌津伊里前地区の高台移転「みねはた団地」では、集会所を利用した自治会の交流イベントが活発に行われています。6月7日には、東京お手玉の会主催の「お手玉交流会」（=写真）が、同14日には、学生時代に明治大学マンドリンクラブに所属していた演奏者が来訪。「ギターとともに懐かしい歌を歌う会」を催しました。7月からは自治会主催の「お茶会交流サロン」が毎月開かれる予定です。



「マイうちわ」で夏を乗り切ろう！

～中央復興住宅で手作いうちわの会～

志津川地区の中央復興公営住宅集会所で6月12日、「紋切りあそび（切り絵）で素敵なマイうちわを作ってみませんか」と銘打った催しが開かれました。「南三陸椿くらぶ」が主催したもので、入居者12人が参加。参加者たちは、くらぶのメンバー5人の手ほどきを受けながら、好みの型（絵柄）を選んで、カッターやハサミで切りぬき、白地のうちわに貼りつけて、オリジナルのうちわを完成させました。



(完成したうちわを手に記念撮影＝中央復興住宅集会所)



(完成したお料理を前に、記念撮影＝公営住宅集会所)

志津川東復興住宅で“男の料理教室”

志津川東復興住宅の第1集会所で6月14日、「男性のための料理教室」が開催されました。町保健福祉課、味の素グループなどが主催したもので、男性入居者11人が参加しました。調理実習では、管理栄養士やヘルスマイトのアドバイスを受けながら、「豚肉と豆腐、ピーマンのチャンプルー」「青菜のなめたけ和え」「すいとん汁」に挑戦しました。参加者の中には、若いころ漁船に乗船して賄いの経験があり、見事な包丁さばきを披露する人もいました。完成後は、普段お世話になっている女性陣を招待し、試食会でもてなしました。

復興みなさん会の総会を開催しました

一般社団法人復興みなさん会の定時社員総会が6月29日、志津川の上山八幡宮社務所で開催されました。総会には、7人の社員全員が出席。平成28年度の活動報告と決算が承認され、29年度の活動計画と収支予算を決定しました。今年度も、公益財団法人トヨタ財団と公益財団法人大阪コミュニティ財団からの助成をいただくことが決まっており、これらを活用して、復興公営住宅と高台移転団地での自治会活動やコミュニティ活動への支援と、それぞれの入居者同士の交流の機会を提供する活動を継続していきます。



(神社社務所で開かれた定時社員総会の様子)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。